

理がより重要な季節の到来です。

六月九日（水）には、小山町三中学  
校合同高校説明会が本校体育館で行わ  
れました。小山町・御殿場市・沼津地  
区の高等学校十二校の先生方を招いて  
各学校の特色や実績、卒業後の進路状  
況等の説明を小山町の中学校の保護者  
向けに行われました。各学校十五分と  
いう短いプレゼンテーションでしたが、  
内容の濃い説明がされ、夏休みの一  
体験入学やオープンスクールがいっそ  
う楽しみになりました。「百聞は一見  
に如かず」ともいわれます。三年生の  
生徒、保護者の皆様には夏休みの一日  
体験入学で「見学した高校のキラリと  
光る何か」を見つけてきていただけれ  
ばと思います。

また六月十一日（土）に行われまし

**全力應援**



一人一人の  
全力が  
心を



六月二十二日（火）には部活動激励会が行われました。一、二年生の生徒会役員、応援団員を中心とした雰囲気と全力を出し切った達成感に包まれた一時間となりました。今年度は、北郷小学校の六年生、みらいこども園の年長のお友達も招待して、中学生の雄姿を見てもらいました。どの子も目をキラキラ輝かせて中学生の

た奉仕作業では、皆様、有志の皆様に御協力をいただき誠にありがとうございました。幸いにもよい天候に恵まれ、おかげをもちまして校内の草や樹木が整備され、生徒にとって過ごしやすい環境となりました。せっかくきれいにしていただきまして、中体連大会に向けて、この状態が少しでも続くことができるようにしていきたいと思います。

東京オリンピック・パラ  
リンピック実施もできそ  
うです。本校では、オリンピッ  
ク・パラリンピック推進校  
として、オリパラ応援のた  
めに、一人一鉢のひまわり

「成すことによって学ぶ」という考え方があります。自信をつけるながら成長していくのです。先日、息子の通う小学校の「おやじ（親父・親路）の会」主催のジャガイモ掘り、サツマイモの苗植えのイベントに参加しました。（私は思い立っておやじの会に入会しました。）暑い中でしたが、家族一緒に楽しいひと時を過ごしました。

本校の授業づくりのキーワードに「学びの三感覚」というものがあります。

- ・わくわく感：学習内容や活動に興味や関心をもち、わくわくしながら取り組む。
- ・達成感：適度な難度があり、解決した時やったーで

# 北郷中学校だより

学校だより  
きたごう  
**第4号**  
令和3年  
6月23日発行  
校訓  
自学・友愛・練磨  
「自ら」 行動する  
振り返る 創造する

は、シーズアスリート所属  
ゴールボール選手の浦田  
理恵選手をお招きし、夢  
実現講演会を実施する予  
定です。小山町代表の川  
野将虎選手同様、日本代  
表の選手を全力で応援し、  
コロナに負けない東京20  
20オリンピックを成功さ  
せる力となりましょう。

## 教務の席から



振りはも絶対に行く！」と力強く説す息子の姿から、楽しい学びは終わった後もずっと統いていくこと、自信は学びの大きな原動力であることを再確認しました。キャラリア教育の大切さが改めて言われています。人生の一つひとつ経験が、感じた人の温かさが、豊かな人生をつくるのだと思います。コロナ禍で、できる形を模索しながら行った今回のイベント。暑い中でとても疲れました。たくさん働いた後の充実感や、水のおいしさ、ご飯のおいしさ、仲間や大人との関わり、全てが「生き方」に結びつくと思います。今後も様々な体験を家族で共有したいと強く感じた一日でした。  
※ジャガイモは、ナス科の植物です。成す（ナス）ことによつて学ぶ。……暑い中ですが、皆様ご自愛ください。

部活動激励会における各部の決意

《野球部》

## 一球入魂

《サッカーチーム》

## 県大会出場

《男子ソフトテニス部》

粒粒辛苦 ベストを尽くせ

《女子バレー部》

バレーバカでかい声や張り切って  
練習一回めでちゃんとくなつて燃え  
完璧全員に

《女子バスケットボール部》

最後まで希望を捨てずに戦う

《女子ソフトテニス部》

## 一蓮托生

《女子卓球部》

一心一体 ~まず一勝~

《総合文化部》

## 全身全霊

今年度の部活動激励会は、地域連携の一環としてみらいことも園の年長児、北郷小学校の六年生が見学にきました。三年生の決意表明、応援団の姿、一・二年生の姿勢など中学年の頑張っている姿を見せてもらえたと思います。特に応援団の壮行の辞やエール、校歌はどうでも思いが込められています。



昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、中体連をはじめとする各種大会が中止または規模を縮小しての開催となりました。今年度も一部の大会が中止になるなど、未だ新型コロナウイルス感染症の影響が残っています。そんな中ではありますが、今年度は中体連駿東地区大会が、十分な感染症対策を実施したうえで開催されます。運動部の三年生は、今夏の中体連が最後の大会となる可能性を、十分に発揮して、悔いのない大会にしてもらいたいと思います。総合文化部



# 部活動激励会

は、中体連のような大会はありませんが、北中の集いに向けた展示作品の制作等に取り組んでいます。

## 二年生のために

今回の部活動激励会は、三年生が最後の活動へ向けて、全力を出し切りやり遂げようという決意を表現する場であると共に、一、二年生が三年生に「ありがとう」「がんばれ」というメッセージを伝える場もあります。一年生はこの日のために五月月中旬から準備を始めました。風休みの応援練習、スライドショーの写真撮影と作成、メッセージカードの作成など様々な準備を進めてきました。準備の中心は一年生。後期を見据えて、これから生徒会活動につながる取り組みになっています。

## 気持ちのこもつた工芸・壮行の辞

今年度の部活動激励会は、地域連携の一つとしてみらいことも園の年長児、北郷小学校の六年生が見学にきました。三年生の決意表明、応援団の姿、一・二年生の姿勢など中学年の頑張っている姿を見せてもらえたと思います。特に応援団の壮行の辞やエール、校歌はどうでも思いが込められています。



## ひまわり Project Part2

東京2020オリンピック・パラリンピック自転車ロードレースを応援するため、生徒一人一鉢のひまわりを育てるようになりました。



ひまわりは順調に成長しており、そろそろ鉢への植え替えになります。競技は約1か月後。それまでに花が咲いてくれることを期待しています。





避難所でのできごと

クリスマスを間近に控えた12月20日夕方、私の住む地域を巨大地震が襲いました。帰宅途中だった私は、何とか自宅まで帰りつることができました。家にいた小学校1年生の息子も無事でしたので、すぐに避難所である小学校に車で向かうことにしました。

私の住んでいる地域は市街地から約30km離れた山間部の住宅地で、避難所となっている小学校の体育館は、避難してきた人で混雑していました。誰もがしっかりととした準備もできないままあわてて避難してきたようですが、皆不安そうに身を寄せ合っていました。避難所には、子ども達やお年寄りも数多くいました。

12月の体育館は凍えるように寒いのですが、電気も不通になっている状況ではストーブも使えません。支給された毛布にくるまり、夜の寒さを感じました。市街地から外れた避難所には、なかなか救援物資や人員の支援が回ってきませんでしたから、体育館に備蓄されていたわずかな食料を皆で分け合いました。

翌日の朝、息子のようすがおかしいことに気付きました。呼吸は浅く、汗をかいています。体温を測ると38.5℃あります。ありつけの毛布や自分の服で温めますが、一向に回復するよう見られません。救急車を要請しようと何度も電話をしましたが、震災後の混亂の中では通じません。自分の車で運ぼうとしましたが、自分の車のガソリン残量はほぼゼロ。道路の被災状況もわからず、途中で車が止まってしまうことを考えられ、自分の車で病院に搬送するのはあきらめました。避難所のリーダーに市街地にある病院までの搬送をお願いしましたが、他にも体調の悪いお年寄りがいるため、今の状況で車を出すことはできないと断られてしまいました。

夕方になっても息子の症状は回復することなく、さらに悪化していました。高熱にうなされ、ひどくせき込む息子の姿を見ているのは、とてもつらいものでした。その夜、私は駐車場となっているグラウンドに向かいました。何台もの車が駐車されていますが、緊急車両等の通行のため、車には鍵がかけられてしまっています。自分の車の隣に駐車している車の給油口扉にも鍵はかかっています。給油口扉を押すと、静かに扉は開きました。

「この車を借りて病院に行くか…」いや、この車からガソリンを少し借りれば、乗り慣れた自分の車で息子を病院に連れていく…。これ以上、息子の苦しむ姿は見たくない。」

給油口のキャップに手をかけた時、ふと顔をよぎったのは息子の笑顔でした。



防災道徳とは、防災や災害時等における（正解の不明確な）葛藤場面で自分なりどうするかを考え、仲間と議論する中で、道徳的価値に気付き、判断力や行動力を高めることをねらいとするものです。静岡大学の藤井基貴先生が東日本大震災をきっかけに始め、ゼミ生と共に開発して、道徳の授業で、東日本大震災を引き継続して行なっています。

六月十六日（水）に、御殿場小山授業研修会が開催されました。例年、北駿地区内の学校を会場に開催されている研修会ですが、本年度は新型コロナウイルス感染症対策として、校内での研修会となりました。研究授業は、一年B組（島田浩和教諭）の道徳。本校が進めている防災道徳を扱いました。



車を運ぶと、B組の授業では「避難所でのでは何が起きること」という本校自作の資料で、命の大切さについて考えを深めました。資料は、巨大地震で被災した親子が避難したいたいとした意見が出されました。

「父親はこのあとどうすると思いますか？」という島田先生の問い合わせに、生徒は「ガソリンを盗むのは悪いことだけだ、息子の命を助けるためだから仕方がない」「盗んだガソリンで助かって息子は喜ぶのか？」「違う方法を考えます」といった意見が出されました。

話し合いや円形での全体討議など、多くの意見が出るようになり、みんなで協力しあうといった意見も出されました。

参観した教員での研究討論では、生徒の考えが焦点化しきれていないといつた意見も出されました。

これからも生徒の学びをより充実したものにしていくために、教職員一丸となって研修に取り組みたいと考えています。

# 御殿場小山授業研修会

## 考え方議論する道徳に

いました。切羽詰まった父親は、隣に止まっていた車の燃料タンクからガソリンを抜き取ることを考える、といった内容です。

静岡大学の藤井先生からは、他教科と関連付けた授業を開催しやすい防災道徳は、授業改善の一つの方法として有効な手立てであることが指導いただきました。これからも生徒の学びをより充実したものにしていくために、教職員一丸となつて研修に取り組みたいと考えています。

## 家庭教育学級、開講

北郷中学校では、急激に変貌する社会に正しく対応し、明るい家庭作りを柱として、「思いやりと潤いのある、心豊かなたくましい子ども」を育成するために、「親としてどう関わっていくべきか」「望ましい家庭のあり方を求めて、親として何をなすべきか」「今、子どもたちに一番必要なことは何なのか」等について、学級生同士が親睦を図りながら学習することにより家庭の教育力を高めることを目的に家庭教育学級を開設しています。

先日、各家庭にご案内いたしましたが、本年度は6名の方から申し込みがあり、先日開講式及び第1回学習会が開催されました。第1回学習会では、本田校長の講話を聞き、年間学習計画を作成しました。趣味の教室なども計画されていますので、改めてご案内いたします。参加の希望はその都度とらせていただきますので、興味のある方はぜひご参加ください。



## 7月行事予定表

月	日	曜 日	給 食	行 事 予 定	下校予定時刻
7	1	木	○	水に入らないレスキュー(各学年合同保健体育)	15:55
7	2	金	○		17:30
7	3	土		中学校総合体育大会駿東支部大会 中学校総合体育大会東部地区水泳大会	
7	4	日		中学校総合体育大会駿東支部大会 中学校総合体育大会東部地区水泳大会	
7	5	月	○		14:40
7	6	火	○	学年集会	17:30
7	7	水	○	パラダイスカップ・プレテスト(国語) 第2回PTA理事会	17:30
7	8	木	○	パラダイスタイム(国語)	15:55
7	9	金	○	パラダイスタイム(国語)	17:30
7	10	土		中学校総合体育大会駿東支部大会	
7	11	日		中学校総合体育大会須藤支部大会	
7	12	月	○	文房具回収(～16日) パラダイスタイム(国語)	14:40
7	13	火	○	生徒集会 専門委員会 就職ガイダンス(3年)	17:30
7	14	水	○	後期生徒会役員選挙 パラダイスカップ(国語)	17:30
7	15	木	○		15:55
7	16	金	○	文房具回収終了	14:20
7	17	土		中学校総合体育大会陸上競技大会	
7	18	日		中学校総合体育大会陸上競技大会	
7	19	月	○	アルミ缶・牛乳パック回収	14:40
7	20	火	○	アルミ缶・牛乳パック回収 中央委員会	17:30
7	21	水	弁	1学期終業式	15:30
7	22	木		海の日・夏季休業開始日	
7	23	金		スポーツの日	
7	24	土			
7	25	日			
7	26	月		三者面談	
7	27	火		三者面談	
7	28	水		三者面談	
7	29	木			
7	30	金		三者面談	
7	31	土		町夏祭り校外指導(校外指導部)	



長田 澄良(21歳)  
趣味 エレクトーン  
好きな食べ物 もつ煮込み

私は平成二十六年度の卒業生で、当時は男の子に間違われるくらいため、「養護教諭教育実習生の長田瀬良です」と名乗りました。今は短く、男子に混じってサッカーチームで活動しています。今も青い「ウルトラマンジヤージ」を見ると、中学時代を思い出します。

田瀬良(おさだせら)さんが教育実習を行っています。

## 長教育田瀬良実習生です



六年十一日は、北中防災の日でした。防災意識を高めるための活動が、各学年で実施されました。三年生は、心肺蘇生トレーニング人形を使って心肺蘇生法とAEDの使用方法を体験しました。最初に「大丈夫夫を使い意圧迫依認ですか?」と意識や反応があるかを確認を繰り返すと、「強く、速く、絶え間なく」と意識して実施するのですが、長時間続ければ、三角巾の使用法についても体験しました。

四年生は、地元が起る可能性がある南海トラフ巨大地震が起こる可能性があることを見ておくというのを実感して実施するのでした。その後はひたすら胸骨圧迫を繰り返すと、「強く、速く、絶え間なく」と意識して実施するのでした。四年生は、地域防災士の資格取り組みに向かっており、地域防災士の資格取得を進めている「ジユニア」の体験に取り組んでいます。今年生は、地域防災士として地域の防災士と一緒に活動を進めていました。また、三年生は、地域防災士として地域の防災士と一緒に活動を進めていました。

# 北中防災の日

中学二年生は、震災当時、震災の資料映像を見ました。一年生は、最初に東日本大震災の資料映像を見ました。生も指導を手伝っていました。

易避難所運営ゲーム、起震車体験、トイレ、避難所のパティション設置、発電機など、実際に災害時に利用する機器、道具等を手にしたり使い方を知つて、驚きとともに実際の使い方を学んでいました。初めて目にするもの多く、驚きました。

この体験のために小山町危機管理課の皆様、地域の防災士の方、小山消防署の担当者様には、大変お世話になりました。今後もご指導お願いいたします。